

アクティブが販売を開始する ベルのヘルメットは日本専用

中野：今回、発売するのはどんなタイプなんですか。

小山：M5XJとM3Jという2種類のフルフェイスです。M3Jはベル伝統のノスタルジックなデザインながら最新技術を盛り込んだモデルで、M5XJは200km/h以上の高速域でライダーの視界を確保するために設計されたハイエンドモデルです。どちらも帽体はFRPで、シールドは3.2mm厚のインジェクション成型です。このスペックだけでも、以前のものとはだいぶ違います。

中野：FRPで帽体はFRPではなかったんですか。

小山：以前ですが、内側から風船のようなものを膨らませる成型方法ではなかったんです。

中野：新たに輸入されるにあたって、日本仕様として何か特別に変えたところがあるんですか。

小山：デザインはM5がヨーロッパ向け、M3がアメリカ向けがベースですが、日本の安全規格に合わせて帽体も新設計しました。内装も日本専用で、ネック、チーク、センターが外せる、いわゆるフル脱着仕様です。

中野：内装の形状も日本人向けなんですか。

小川：そうです。日本の安全規格を通すときに日本人の頭模型を作りましたので、内装の形状もそれに合わせて作り直しています。向こうのままだとが頭が痛くなることがあります。ここに展示してあるのは試作品。もう少しがぶり心地をよくしようと思っています。

中野：このクッションはアメリカ仕様なんですか。

小川：いえ、サポートの方式から日本独自の設計です。それで包み込むような感じを出しています。

佐藤：日本人好みの色に塗って、ハイ、出来上がり！じゃあないんだ。値段もそれほど高くないですね。

中野：いつごろ発売する予定なんですか。

小川：6月の末くらいを目指しています。

佐藤：アクティブさんは、ヘルメット以外にもブレーキやホイールなどがいろいろ展示されていますよね。

小川：昨年、自社で導入したNCマシンで削り出したラジアルマウントキャリパーや可変レシオのマスターシリンダーを出展しました。ホイールは、リムの表面にドライカーボン張って補強したものを提案しています。リムを2mm薄くできるので、通常のゲルスピードと同等の重さで強度を高めることができるんです。

佐藤：社名のとおり、本当にアクティブですね。



- ①アクティブ本社で企画と広報を担当している小山博由来さん。ベルM3Jのカラーリングは「ほとんど私の個人的好みで決めました」
- ②M3Jはノスタルジックなデザインのベーシックモデルで、シェルはアラミド繊維とカーボン繊維の複合素材を使用。安全規格はSGを取得（MFJは申請中）。白は3万5700円、ツートーンは3万9900円。
- ③M5XJは超高速域での視界を確保したハイエンドモデルで、複合素材のシェルに硬度の異なる2層ライナーを採用し、衝撃吸収性を高めるとともにフレッシュエアを通過。SG規格のほかスネル2005を取得（MFJは申請中）。縦にストライプのついた“デイトナ”と左の“インディ”がある。価格はどちらも5万400円とのことだ。
- ④ラジアルマウントキャリパーは試作品だが、マスターシリンダーは夏～秋に発売予定。ハイブリッドホイールの製品化は未定だ。

